



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 大島 宏彦

→印刷用は[こちらから](#)



職業整理

「職業奉仕をロータリー活動の原点として確認する」を地区目標の第2に取り上げた身としては気が引けますが、ガバナー就任を口実に肩書き整理に本腰を入れ始めました。昨年6月に中日新聞会長をやめたのを皮切りに、今年は共同通信理事長や新聞協会理事運営委員を手放しました。ロータリーの実務が始まる7月からは、これまでより少しは時間が空く計算です。

そうはいっても相手のあること、なかなか思い通りには進みません。名古屋商工会議所副会頭や全日本広告連盟副会長などは残っていますし、いつの間にかふえた中学校・高校・大学の同窓会の肩書きも従来のままです。「世の中には心ならずも、長年勤めた職を離れなければならない人が一杯いるのに」と思いながら、少しでも時間を作ろうと悪戦苦闘を続けています。

どんな小さな団体でも、引き受けた以上は手を抜けません。しかし同時に二つの仕事を手掛けることが出来ない以上「多くの家族の生活に責任を持つ自己の職業が最優先」というのが、時間管理の原則でなければなりません。先進国のロータリーで会員が減り始めたせいでしょうが、アナハイムの研修で職業奉仕の重要さが取り上げられた時は、わが意を得た思いでした。

そうは言っても、辞めるには就任する以上に神経を使います。リーダー次第で多くの社員・役員の生活が一変するからです。学歴も経験も申し分ない息子の副社長が、業界最優良だった会社を相続した途端に大赤字、営業譲渡しなければならなかった例を、五十年前に見ています。ですから長年勤めた社業に良き後継者を得て、地域奉仕に力を割けるのは幸せと思います。

「最後の一度くらいは」と、今年の6月は日程の折り合う限り、色々な会合に付き合いしました。「20年前から出ている会だし、アナハイムのロータリー研修と同程度」と一週間の休暇をとり、WAN世界新聞大会にトルコへも出掛けました。ギリシャのオリンピックの直前で参加者不足で困っていた日本新聞協会は喜んでくれましたが、実際は顔を見せているだけです。

日ごろ「自分しかできない仕事をやってこそ勤務時間だ。他人と一緒にの会議やセレモニーなど、それに必要な往復の時間ともども、勤務時間に参入すべきでない」を信条の一つにしている以上、この間の生産性は0に近かったと言えます。数年前のWANの時は、ユーロ発足前の財務大臣にインタビューして為替を動かす発言を引き出しましたが、これも今は昔話です。

平社員時代に読んだ「パーキンソンの法則」に「恩給点の解析」という、上司の辞めさせ方の秘伝があります。「飛行機旅行と書式の書き込みを組み合わせれば、近代生活における完全な疲労をもたらす、短期間に退職を考え始める」という話です。海外まで同行してくれた協会の若者に荷物運びを手伝って

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

拡大月間によせて 地区拡大委員会 委員長 浦野 三男



私は本年度(2004-2005年)新しく地区拡大委員長に任命され、誠に光栄の至りと共に其の任務と責務の重大さを強く痛感致しております。「拡大」とは外部拡大の通称で新クラブを設立してロータリーを拡大していくと言う活動です。社会情勢は長引く不況と金融不安、併せて構造改革の入り口の今日では私共、ロータリーにも多大な影響を及ぼしています。夫々のクラブでは会員減少は悩みの種であり、奉仕活動にさえも支障を来す有り様です。こうした状況下で新たに拡大を行う事は非常に困難であります。然し、2005年はロータリー誕生100周年の記念すべき年です。そして当地区では来年3月に中部国際空港が常滑沖に開港致します。万国博覧会は日本で35年ぶりに当地で開催されます。「愛・地球博」のネーミングの下、知恵とチカラをひとつに終結して、豊かな未来社会を創り出す扉を開こうとしています。

2004-2005年度 国際ロータリー会長 グレンE・エステス・シニア氏はRIテーマとして「ロータリーを祝おう」を呼びかけています。クラブ、職場、地域社会、そしてもっと広い社会で新たに奉仕に献身しあって、より良い平和な世界を達成する為のロータリアンの貢献を示しております。

第2760地区の大島宏彦ガバナーも2004-2005年度 4つの重点課題の中で「ロータリー100年をお祝いだけに終わらせない」とされ、ロータリーにとって今年度は第1世紀と第2世紀に跨る節目で新しい門出ができるような地区方針を提唱されております。

私共、拡大委員会においても各レベルからの意向を十分に汲み取り新世紀に相応しい新クラブ誕生に最大限の努力を払う所存でございます。新クラブ設立の目標としてロータリーの原点に戻り、ローコスト化し年会費等を減額設定し若い世代を中心に積極的な行動と軽いフットワークを目指すクラブ、ユニークでアイデアに富んだ魅力のあるクラブ、スポンサークラブから移籍会員のないスタートラインの同じ仲間で構成したフレッシュなクラブ。以上のような斬新なスタイルの新クラブを各ロータリークラブの周年記念(10年20年30年40年)事業として行い、また現行においてロータリークラブの存在しない地域(例えば 新国際空港など)に地域を絞り込んで設立を考慮したいと考えております。各クラブでも再度、会長、幹事を軸に会員各位に拡大を再考して戴き、ロータリアンの輪が更に一層広がりますようご指導、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

100年の重みをテーマに沿ってよく理解して皆さんで新クラブ設立に貢献し発展拡大を眞の意味で祝おうでは有りませんか。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

会員増強月間によせて 地区会員増強委員会 委員長 細田 周一



8月は、会員増強月間です。大島ガバナーの本年度の方針の中の一項目に、ロータリーの存在と意義を地域と世界に訴え、日米などに今広がっている会員減に歯止めをかけて、巻き返しのチャンスをつかもうというのがあります。2004年4月末日の当地区の会員数は、5498名、昨年の7月末の会員数は5477名、21名の純増です。80クラブで、会員の増加に取り組んでいますが、入会よりも退会の方が、上回っていて、結果的に、微増に留まっています。会員増強は、委員会に任せるだけでなく、一人一人の身の回りから考えてゆくことが、大切です。増強の前に会員の減少をどう防ぐかということです。

昨年の神戸政治RIMCが、言われた言葉を引用します。①クラブ独自の会員増強のマニュアル、方針を決めてほしいこと。②退会の防止では、理由を調べたり、退会者を少なくするよう活動をする。会員増強を考えると、次の3点を考えてほしい。

①ロータリーの目的を十分説明をしているか。②ロータリアンの義務、権利やロータリーの活動について、詳しく話しているか。③自分のクラブの構成とか、活動をきちんと話しているか。以上のことを参考にクラブ独自のマニュアルを作してほしい。

次に、昨年の地区会員増強委員長会議の折の宮崎茂和RIMZCの講演を引用させていただきます。

当地区は、日本で一番会員数が多い地区です。日本には、会員数が20名以下のクラブが167クラブあります。一番少ないクラブは5名しかいません。8名が3クラブあります。20名以下のクラブが多いのは、第1ゾーン(東北、北海道)です。当地区は、0です。ですから、非常にアクティブな地区です。

ロータリーやロータリー財団は、世界中で毎日どこかで奉仕活動をしています。しかし、この様な素晴らしい奉仕を行うためには、一人でも多くのロータリアンが必要です。そのためには、活動していただく素晴らしいロータリアンを増やすことが求められます。

私は、MZCとして過去2年間いろいろな地区を訪問させていただきました。その体験に基づいて、皆さんにお土産を差し上げたいと思います。クラブに帰って是非自分のクラブについて検討してみてください。まず、7つのことを申し上げます。

- ① ロータリーのイメージが今ひとつ。金持ちの昼食会か？しかし誰がそうさせているのか。
- ② ロータリアンとしての活性の低下。特にステータスの低下。奉仕意欲の減少、従って参加ロータリアンの減少。誰がそうさせているのか。
- ③ 会員増強をしようというやる気の低下。会員増強委員長、会長、幹事の燃えるような情熱。1人1人の責務。
- ④ 景気の後退が、錦の御旗になっている。ロータリー大好きだけど経済的理由だけで辞めた人は意外と少ない。
- ⑤ 新会員に対する会員の配慮が薄い。3年未満で去っていく会員は、辞めてゆく会員の実に3/4ある。全国的な平均。どうしてか？
- ⑥ 止めていった人に対する調査。クラブに何か原因はないか。その原因を排除して、楽しいクラブ作りが大切。
- ⑦ 奉仕に対して、感動を得る事が少ない。感動を得るようなプロジェクト作り。継続事業の見直し。奉仕に参加する会員を増やす。ロータリーを楽しむプログラムを作る。

以上のことに対して、ではどのような対策をとればよいか。7つのことを申し上げる。

- ① 地区もクラブも目標を立てて公表しましょう
- ② 前年度6月までに、この8月の会員増強月間の準備は出来上がっていたでしょうか？

- ③ 質の向上を考える。これは、会員の維持につながる。ロータリアンとしてのステータスが向上する。
- ④ フォーラムやアッセンブリーで、ロータリー、ロータリー財団への理解を深める。
- ⑤ 例会・奉仕は楽しいものにする。
- ⑥ 地区補助金を利用する。
- ⑦ 辞めていった会員に対する配慮。

以上のようなお話をいただいた。

本年度も、8月4日に名古屋で、地区会員増強委員長会議を開催。各グループごとに成功例や意見交換をして、会員増強セミナーを行う。

テーマは、①会員増強のための方策。②退会防止の方策。③新会員に対する研修・フォローなどとする。

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

2005年国際ロータリー年次大会(シカゴ)

日時: 2005年6月18-22 日

場所: 米国イリノイ州シカゴ市

6 月16 日、木曜日ー大会前の諸活動

15:00-19:00	国際研究会の登録 ローターアクト会議の登録 青少年交換役員会議の登録
17:30-19:00	国際研究会歓迎レセプション 青少年交換役員会議歓迎レセプション

6 月17 日、金曜日ー大会前の諸活動

08:00-18:00	登録/券の販売/信任状の査証
08:00-17:00	国際研究会の登録 ローターアクト会議の登録 青少年交換役員会議の登録
09:00-17:00	国際研究会 ローターアクト会議 青少年交換役員会議
12:00-14:00	国際研究会昼食会(RI の要食券行事)
19:00-22:00	青少年交換役員晩餐会 (RI の要食券行事)

6 月18 日、土曜日ーシカゴへようこそ

08:00-20:00	登録/券の販売/信任状の査証
08:00-17:00	国際研究会の登録 ローターアクト会議の登録 青少年交換役員会議の登録
09:00-20:00	友愛の家 事務局の業務/免許取得業者
09:00-17:00	国際研究会 ローターアクト会議 青少年交換役員会議
10:00-13:00	百周年記念パレード
12:00-14:00	国際研究会昼食会(RI の食券購入必要行事)
12:00-18:00	ロータリー親睦活動グループの展示
14:00-16:00	会場監督研修セッション
15:00-18:00	ロータリー財団学友親睦会 セミナーおよびレセプション
18:00-24:00	ホスト組織主催もてなしのタベ

6 月19 日、日曜日ーシカゴへようこそ

未定(午前中の早朝時)	「完走行事」競走/競歩
08:00-17:00	登録/券の販売/信任状の査証

09:00-16:00	友愛の家/贈りもの袋/ホスト組織主催もてなし行事/ 奉仕業務/公式被免許業者ブース
12:00-14:00	ポール・ハリス・フェロー昼食会(RIの要食券行事)
12:00-16:00	ロータリー親睦活動グループの展示/ クラブおよび地区のプロジェクト展示
15:30-16:00	本会議開始前の余興
16:00-18:00	開会本会議
20:00-22:00	開会本会議(第2回目)

6月20日、月曜日—2004-05 ロータリー年度を祝う

08:00-18:00	登録/券の販売/信任状の査証
09:00-18:00	友愛の家/贈りもの袋/ホスト組織主催もてなし行事/ 奉仕業務/公式免許取得業者ブース
09:00-09:30	前奏音楽
09:30-12:00	第二回本会議
12:00-18:00	ロータリー親睦活動グループの展示/ クラブおよび地区のプロジェクト展示
12:30-14:30	会長主催認証昼食会(RIの要食券行事)
15:00-16:30	討論ワークショップ(テーマ関連議題)
19:00-23:00	百周年記念シカゴ祝賀祭(ホスト組織主催要入場券行事)

6月21日、火曜日、—私たちのロータリー財団

08:00-18:00	登録/券の販売/信任状の査証
09:00-18:00	友愛の家/贈りもの袋/ホスト組織主催もてなし行事/ 奉仕業務/公式免許取得業者ブース
09:00-09:30	前奏音楽
09:30-12:00	第三回本会議
12:00-18:00	ロータリー親睦活動グループの展示/ クラブおよび地区のプロジェクト展示
13:00-14:30	会長エレクト主催リーダーシップ昼食会
15:00-16:30	(RIの要食券行事)
16:30-18:00	討論ワークショップ

6月22日、水曜日—先を見つめよう

08:00-13:00	登録/券の販売/信任状の査証/ 贈りもの袋/ホスト組織もてなし行事
09:00-18:00	友愛の家 奉仕業務/公式免許取得業者ブース
09:00-09:30	前奏音楽
09:30-12:00	第四回本会議
未定	100周年記念本サイン会
12:00-14:00	将来/第2の百年を目指そう昼食会(RIの要食券行事)
12:00-18:00	ロータリー親睦活動グループの展示/ クラブおよび地区のプロジェクト展示
19:00-19:30	前奏音楽
19:30-21:30	閉会式

Please translate the name of the link プログラムのハイライト

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

2004～2005年度のための地区協議会開催

日時: 2004年4月18日(日)

於: ウェスティンナゴヤキャッスル

(ホストクラブ: 春日井RC)



地区内80クラブの会長、幹事、各委員会委員長、新会員・一般会員ら1600名余の参加のもと地区協議会が行われた。

地区協議会はロータリーの会議の中でも重要な地区会合の一つであり、ロータリー活動に必要な技能、知識および意識の向上を目的として新年度クラブ指導者等を集め開催される会議であります。

10時30分から本会議が開始され、大島ガバナーエレクトは2004～2005年度の地区方針についてその内容を詳しく説明し、午後に開催される分科会が有意義なものとなることを期待して、話を終えた。

昼食後各参加者は、第1から第9までの各分科会に分かれリーダーを中心に熱心な討議が行われた後、再び本会議場に戻り豊島ガバナーの講評を最後に地区協議会は新年度の体制作り大きな成果を残し終了した。

地区協議会プログラム

→第一分科会～第九分科会報告はこちら

09:30～10:20	登録	(9:30友愛の広場会場)	
10:30～12:00	本会議	司会	北 健司
10:30	点鐘	ガバナーエレクト	大島 宏彦
	開会の言葉	実行委員長	塚本 兼光
10:35	国歌「君が代」斉唱	ソングリーダー	櫻井 眞行
	ロータリーソング「奉仕の理想」	ソングリーダー	櫻井 眞行
10:40	歓迎の挨拶	ホストクラブ会長	寺倉 勇
10:45	特別出席者紹介	次期地区幹事	安藤 重良
10:50	出席クラブ紹介(分区、クラブ名、会員数)	副実行委員長	小島 啓治
10:55	ガバナー挨拶	ガバナー	豊島 徳三
11:00	「新しい年度の目標」について	ガバナーエレクト	大島 宏彦
11:30	ガバナー引継ぎ・記念エンブレム贈呈	ガバナーエレクト	大島 宏彦
	ガバナーズ・クラブガバナー引継ぎ	次期地区幹事	安藤 重良
	豊島ガバナー・地区幹事へ花束贈呈	ガバナーエレクト	大島 宏彦
	(ホストクラブより)	ガバナーエレクト	大島 宏彦
11:40	2004～2005年度地区大会のご案内	豊橋南RC会長エレクト	関口三千彦
	次期ホストクラブ発表	ガバナーエレクト	大島 宏彦
	次期ホストクラブ代表挨拶	西尾RC会長エレクト	杉浦 澄雄
11:50	2005国際博について	2005国際博委員長	内藤 明人

12 : 00	諸事のお知らせ	司会	北 健司
12 : 05～13 : 00	移動・昼食		
	午後の部		
13 : 10～15 : 30	分科会	第1分科会～第9分科会	
15 : 30～15 : 45	移動・休憩		
	本会議		
15 : 45	ガバナー講評	ガバナー	豊島 徳三
16 : 00	点鐘	ガバナーエレクト	大島 宏彦

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

2004～2005年度 地区協議会報告『第一分科会』

会長・幹事・会計・2005年国際博・拡大

会場名:2F 天守の間中

リーダー	ガバナー	豊島 徳三
アドバイザー	ガバナーエレクト	大島 宏彦
1. 開会の言葉	司会 アシスタントリーダー 次期地区幹事	安藤 重良
2. 主題の説明	リーダー ガバナー	豊島 徳三
3. 新年度 RIテーマ・ガバナー方針	アドバイザー ガバナーエレクト	大島 宏彦
4. 会長・各クラブに期待するもの	リーダー ガバナー	豊島 徳三
5. 幹事の役割	アシスタントリーダー 地区幹事	瀧 義孝
6. 新年度の手続き変更等について	アシスタントリーダー 次期地区幹事	安藤 重良
7. 次期地区予算案説明	アシスタントリーダー 次期地区会計長	近藤 久二
8. 次期地区予算案の承認	アシスタントリーダー 次期地区会計長	近藤 久二
9. 次期財務委員長所見	アシスタントリーダー 次期地区財務委員長	藤井 克己
10. 拡大について ロータリー創立100周年を期して	アシスタントリーダー 次期地区拡大委員長 ガバナー	浦野 三男 (豊島 徳三)
11. 2005年国際博について ロータリー館活用を含めて	アシスタントリーダー ガバナーノミニー ガバナー	高橋 治朗 (豊島 徳三)
12. 新世紀のロータリーをめざして 講評	リーダー ガバナー	豊島 徳三
13. 閉会の言葉	司会 アシスタントリーダー 次期地区幹事	安藤 重良

(敬称略)

2004～2005年度 地区協議会報告『第二分科会』

クラブ奉仕・会員増強・広報・インターネット・副会長
又は会長エレクト・ロータリー情報

会場名:2F 天守の間北

リーダー	次期地区クラブ奉仕委員長	江崎 柳節
アドバイザー	パストガバナー	福田 浩三
司会	担当次期地区副幹事	永岡 滋
1. 特別出席者紹介	アシスタントリーダー 担当次期地区副幹事	永岡 滋

2. 開会挨拶と第2分科会の概要	アシスタントリーダー	
	次期南尾張分区ガバナー補佐	加藤 知成
3. 新年度のクラブ奉仕	リーダー	
	次期地区クラブ奉仕委員長	江崎 柳節
4. 会員増強と退会防止	アシスタントリーダー	
	次期地区会員増強委員長	細田 周一
5. RI広報賞と各クラブの広報活動	アシスタントリーダー	
	次期地区広報委員長	石垣 昭快
6. 「ロータリーの友」とロータリー館で友情を深めよう	アシスタントリーダー	
	次期ロータリーの友地区委員	松前 憲典
7. 各クラブのIT化の現状と インターネット委員会の役割	アシスタントリーダー	
	次期地区インターネット委員長	坂本 晃 講師 全 員
8. 意見交換		
9. 講評	アドバイザー	
	パストガバナー	福田 浩三
10. 閉会の辞	リーダー	
	次期地区クラブ奉仕委員長	江崎 柳節
		(敬称略)

2004～2005年度 地区協議会報告『第三分科会』

職業奉仕		会場名:2F 青雲の間東
リーダー	次期地区職業奉仕委員長	太田 達夫
アドバイザー	パストガバナー	盛田 和昭
司会	アシスタントリーダー	
	次期地区職業奉仕副委員長	成田 洋之
1. 挨拶	アドバイザー	
	パストガバナー	盛田 和昭
2. 挨拶	次期東三河分区ガバナー補佐	伴 辰三
3. 次年度地区職業奉仕委員会の方針		
1)ロータリーの職業奉仕の理念の理解の徹底	次期地区職業奉仕委員長	太田 達夫
2)職業奉仕委員会の任務の理解の徹底		
3)各自の社是、社訓集の作成		
4. 「ロータリー職業奉仕を理解するために」		
配布資料の購読ヶ所のお知らせ	次期地区職業奉仕委員	場々 大刀雄
購読後 質疑応答		
5. 講評	アドバイザー	
	パストガバナー	盛田 和昭
		(敬称略)

2004～2005年度 地区協議会報告『第四分科会』

社会奉仕・RCC・環境保全		会場名:2F 銀の間
リーダー	次期地区社会奉仕委員長	石田 弘幸
アドバイザー	パストガバナー	神戸 政治
司会	担当次期地区副幹事	楠 吉邦
1. 次期ガバナー補佐挨拶	アシスタントリーダー	
	次期西三河分区ガバナー補佐	鈴木 信吾
2. 社会奉仕・環境保全・RCCについての概説	リーダー	
	次期地区社会奉仕委員長	石田 弘幸
3. 社会奉仕について	リーダー	
	次期地区社会奉仕委員長	石田 弘幸

4. 質疑応答

<休憩>

5. 環境保全について

アシスタントリーダー

次期地区環境保全委員長

國分 孝雄

6. 質疑応答

7. RCCについて

アシスタントリーダー

次期地区RCC委員長

宮田 正人

8. 質疑応答

9. アドバイザー 講評

アドバイザー

パストガバナー

神戸 政治

(敬称略)

2004～2005年度 地区協議会報告『第五分科会』

国際奉仕・青少年交換・世界社会奉仕

会場名:2F 青雲の間中

リーダー

次期地区国際奉仕委員長

吉野 勝己

アドバイザー

パストガバナー

石川 和昌

司会

アシスタントリーダー

次期地区国際奉仕副委員長

大谷 和雄

1. 出席者の紹介

アシスタントリーダー

次期地区国際奉仕副委員長

大谷 和雄

2. 国際奉仕について

リーダー

次期地区国際奉仕委員長

吉野 勝己

3. アシスタントリーダーとして

次期西名古屋分区分ガバナー補佐

山路 兼生

4. 青少年交換の方針

アシスタントリーダー

次期地区青少年交換委員長

鈴木 吉男

帰国留学生の成果報告

<休憩>

5. 世界社会奉仕の方針

アシスタントリーダー

次期地区世界社会奉仕委員長

水谷 金之

6. フリートーク(質疑応答)

7. 講評

アドバイザー

パストガバナー

石川 和昌

(敬称略)

2004～2005年度 地区協議会報告『第六分科会』

新世代・インターアクト・ローターアクト・ライラ

会場名:2F 青雲の間西

リーダー

次期地区新世代委員長

藤井 忠

アドバイザー

パストガバナー

松本 宏

司会

アシスタント

次期地区新世代副委員長

瀧本 守

1. 開会

アシスタント

次期地区新世代副委員長

瀧本 守

2. ガバナーエレクト挨拶

総括リーダー

ガバナーエレクト

大島 宏彦

3. 開会の挨拶

アシスタントリーダー

次期西尾張分区分ガバナー補佐

長谷川 正巳

4. リーダー挨拶及び概要説明

リーダー

次期地区新世代委員長

藤井 忠

5. 委員会活動方針・活動状況

アシスタント

1)新世代委員会	次期地区新世代副委員長	瀧本 守
2)インターアクト委員会	アシスタントリーダー	
	次期地区インターアクト委員長	谷川 修
3)ローターアクト委員会	アシスタントリーダー	
	次期地区ローターアクト委員長	高木 博
4)ライラ委員会	アシスタントリーダー	
	次期地区ライラ委員長	岩瀬 淳一郎
6. 質疑応答		
7. 講評	アドバイザー	
	パストガバナー	松本 宏
8. 閉会の辞	アシスタント	
	次期地区新世代副委員長	佐藤 隆史
(敬称略)		

2004～2005年度 地区協議会報告『第七分科会』

ロータリー財団委員会、年次寄付委員会、補助金委員会、
財団奨学委員会、財団学友委員会、恒久基金委員会、
研究グループ交換委員会、ポリオプラス委員会

会場名:2F 金の間

リーダー	次期地区ロータリー財団委員長	鈴木 孝則
アドバイザー	パストガバナー	野村 重彦
司会	担当次期地区副幹事	杉浦 典男
1. 開会の辞	担当次期地区副幹事	杉浦 典男
2. 役員・委員紹介	次期地区ロータリー財団副委員長	深谷 友尋
3. 財団紹介ビデオ上映		
4. リーダー挨拶	リーダー	
	次期地区ロータリー財団委員長	鈴木 孝則
5. アドバイザー挨拶	アドバイザー	
	パストガバナー	野村 重彦
6. 年次寄付について	アシスタントリーダー	
	次期地区年次寄付委員長	岡本 戡紘
7. 地区補助金について	アシスタントリーダー	
	次期地区補助金委員長	尾上 昇
<休憩>		
8. 国際親善奨学生について	アシスタントリーダー	
	次期地区財団奨学委員長	石田 正城
9. GSEについて	アシスタントリーダー	
	次期地区研究グループ交換委員長	矢形 修己
10. 財団学友会について	アシスタントリーダー	
	次期地区財団学友委員長	藤田 守彦
11. ポリオについて	アシスタントリーダー	
	次期地区ポリオプラス委員長	山内 登
12. 恒久基金について	アシスタントリーダー	
	次期地区恒久基金委員長	渡辺 均
13. 質疑応答		
14. 講評	アシスタントリーダー	
	次期東名古屋分区ガバナー補佐	神田 肇
15. 閉会の辞	担当次期地区副幹事	杉浦 典男
(敬称略)		

2004～2005年度 地区協議会報告『第八分科会』

米山奨学・米山学友**会場名:2F 藤の間**

リーダー	次期地区米山奨学委員長	鈴木 茂久
アドバイザー	米山記念奨学会理事	加納 泉
司会	アシスタントリーダー	
	次期地区米山奨学副委員長	小山 慎介
1. 開会	アシスタントリーダー	
	次期東尾張分区ガバナー補佐	小川 征一
2. 米山記念奨学会の現況	アドバイザー	
	米山記念奨学会理事	加納 泉
3. 運営、地区組織の役割	リーダー	
	次期地区米山奨学委員長	鈴木 茂久
4. 奨学金制度、世話クラブ、カウンセラー制度	アシスタントリーダー	
	次期地区米山学友委員長	大西 弘高
5. 寄付金と奨学金・事業費推移	アシスタントリーダー	
	次期地区米山奨学副委員長	浅野 多喜男
6. 学友会の現況	アシスタントリーダー	
	次期地区米山学友副委員長	竹内 一郎
7. 質疑		
8. 講評	アドバイザー	
	米山記念奨学会理事	加納 泉
9. 閉会	担当次期地区副幹事	渡邊 文雄

(敬称略)

2004～2005年度 地区協議会報告『第九分科会』**新会員・一般会員****会場名:2F 天守の間**

リーダー	次期地区研修リーダー	福田 清成
アドバイザー	パストガバナー	太田 賢太郎
司会	次期地区副幹事	島本 迪彦
1. 挨拶	リーダー	
	次期地区研修リーダー	福田 清成
2. 創立100周年を迎えるロータリークラブの 魅力とは何か	アシスタントリーダー	
	次期西三河中分区ガバナー補佐	梅村 正
	アシスタントリーダー	
	次期地区クラブ奉仕副委員長	井上 穂
	アシスタントリーダー	
	次期地区社会奉仕副委員長	長瀬 輝代之
3. 質疑応答		
4. 講評	アドバイザー	
	パストガバナー	太田 賢太郎

(敬称略)

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760 国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

第一回ガバナー補佐会議報告



第1回ガバナー補佐会議 次第

日 時 2004年7月2日(金) 15:30~17:30

場 所 名古屋観光ホテル 3階「楠の間」

黙祷

プログラム 進行 司会及び開会の辞

1. 席次表による出席者の確認

2. 配布資料確認

3. ガバナー挨拶

4. 議事

① ガバナーノミニー候補の推薦について

② 次期ガバナー補佐選出方法について

③ ガバナー補佐訪問について

④ 研究グループ交換委員会よりお知らせ

⑤ その他

・ビジター受付の件

・ガバナー月信担当者よりお知らせ

・意見交換

・次回第2回ガバナー補佐会議開催日の確認

《2005年5月13日(金)名古屋観光ホテル》

ガバナー 大島 宏彦

地区幹事 安藤 重良

地区幹事 安藤 重良

地区副幹事 石田 喜樹

ガバナー 大島 宏彦

地区幹事 安藤 重良

地区副幹事 渡邊 文雄

地区副幹事 渡邊 文雄

研究グループ交換委員会 委員長 矢形 修己

地区幹事 安藤 重良

地区副幹事 永岡 滋

地区副幹事 石田 喜樹

懇親会

開会のことば

挨 拶

乾 杯

閉会のことば

18:00~20:00 18F「オリオン」にて

地区幹事 安藤 重良

ガバナー 大島 宏彦

地区研修リーダー 福田 清成

懇 親

地区会計長 近藤 久二

[▲上へ戻る](#)

国際ロータリー第2760地区
ロータリークラブ会長 各位

国際ロータリー第2760地区 2006～07年度

ガバナーノミニー候補の推薦について

国際ロータリー細則13条ガバナーの指名と選挙の定めに従い、第2760地区
2006～07年度（高橋年度の翌年度）ガバナーノミニーを指名するため、貴ロ
ータリークラブより適任者を下記によりご推薦下さいますようご依頼申し上げます。

提案は候補者推薦クラブの例会で採択された決議という形式で提出して下さい。
この決議はクラブ幹事によって正式に証明して頂く必要があります。

詳細は、手続要覧の国際ロータリー細則第13条第2節をご参照下さい。

2004～05年度 地区指名委員会

委員長	太田 賢太郎 (P.D.G)
副委員長	岡部 快圓 (P.D.G)
委員	豊島 徳三 (P.D.G)
委員	野村 重彦 (P.D.G)
委員	福田 清成 (P.D.G)

記

氏 名 _____ 所属クラブ _____

生年月日 _____ ロータリー歴 _____

以上

・・・・・・・・・・締切：2004年8月30日（月）必着・・・・・・・・・・

送付先：〒460-0003 名古屋市中区錦1-19-30 名古屋観光ホテル643号室
国際ロータリー第2760地区 ガバナー 大島 宏彦

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

このコーナーは、多くの会員が月信を楽しくお読みいただければと考え設けさせていただきました。
 ジャンルには限定なく、会員自身の興味深いご経験や趣味、時事雑感や他クラブ会員への呼びかけ等を掲載していきたいと思っております。
 毎月ご愛読下さいます様お願いいたします。

話の泉 ① 「偽満州を旅して」

名古屋RC 加藤 千麿 (株)名古屋銀行 取締役頭取)

5月初旬に高校時代の仲間と旧満州(現地では偽満州と表現されている)と大連・旅順へ出かけた。
 私にとって旧満州は初めて訪れる地である。旧満鉄列車を利用して約1,000キロメートルを移動した。ハルビン、長春、瀋陽は、かつての日本国が「五族協和」、「王道楽土」を唱えてつくった満州国の中枢地である。

「ハルビン」はロシアに近く黒龍江省の省都であり、帝政ロシアの統治の名残りを留め、ロシア風建物が見られる。聖ソフィア教堂、中央大街の建物など。1932年日本軍がハルビンを占拠して、1945年まで支配した間、日本の建物として松浦洋行(百貨店)、桃山小学校(現・兆麟小学校)など残っている。桃山小学校は作家、なかにし礼の小説「赤い月」に取り上げられており、「流入する数万の避難民のために学校が収容所にあてられた。牡丹江から避難した民子も、ここに収容された。ドームのついたロシア風の美しい建物でついこの間まで日本人学校だった。」
 東北烈士記念館(旧関東軍憲兵司令部)は1948年に抗日戦を扱ったもの、毛沢東の「打敗日本侵略者、解放全国人民」と銘がある。

「長春」は旧満州国の都、日本では「新京」である。愛親覚羅溥儀の皇帝居宅、映画「ラストエンペラー」で皇帝の弟、溥儀が日本人の妻・浩(嵯峨侯爵の息女)を伴って始めて満州の地、皇帝居宅を訪れるシーン、玄関奥のホールでのダンスの場面が思い出される。満州国務院、日本の国会議事堂に似ている。入口の傍らに秩父宮殿下のお手植えの松と、「偽満州国務院旧跡」の碑が建ててある。
 満州協和会、関東軍司令部などの旧満州国時代の遺構が現在も各機関として使用されている。

「瀋陽」は満州事変勃発地で、柳条湖事件の場所も中心地近くである。「9.18事変博物館」がその場所に建立され、見学が許される。日本人にとってこれらのさまざまなシーンは、いささかつらい。故宮博物院、清朝の元祖ヌルハチ及びホンタインの王宮である。広大な広さ6万㎡には20余りの庭園と90余の建物がある。

ハルビン、長春、瀋陽の駅は旧満鉄の建物であり、その前には満鉄経営の大和ホテルが威容を示している。
 最終行程で大連へ向った。13:00時発の特急列車に乗る。400km、4時間である。のどかな草木の田園風景を見ながら車中閑談を交わす。

大連は私の生誕地、10歳まで過ごした懐かしい所である。18年前到北京でのビジネスの途中に訪れたことがあり、2度目となる。今回の目的の一つは、私が幼年期に住んでいた「光風台」という丘の上の住宅地へ行くことであつた。大連の中心地、中山広場から南方向、解放路を南へ、桃源街(旧・桃源台)に着く。かつては路面電車が走っていた路である。解放路の道から小高い山へ向って南側の坂道を登る。この一画(約8万㎡)の地域が光風台と呼ばれた日本人の屋敷があつた地域である。

500メートルほど丘を登り進むと、この一画が赤煉瓦の塀で囲まれ、進入路は封鎖されている。前回、18年前には入口に石の門柱があつて守衛と遮断機の腕木で通行を遮っていた。守衛に事情を話しても軍事関係施設であり許可なしではこの地域へ入れないと拒まれた。

今回は、事前に東京三菱銀行大連支店にお願いし、大連対外貿易経済合作局の骨折りで許可を得てきた。

光風台の入口では外貿合作局の主任に迎えていただいた。この居住区入口には「中国人民解放軍大連軍区高級療養所」と看板がかかげられている。

中へ入ると、まるで公園の中に入っていくようだ。日本人のかつての屋敷がそれぞれ保存され利用されている。一軒ごとに建物を囲んでいた塀は取り払われたり、小さくなったりして、30軒ほどの屋敷がまるで快適な別荘風に点在している。道路も整備され、一段と美しい街並みとなっていた。「我が家は・・・」と気がせく。このあたりかと思いきや、家がない。隣家(食堂)の庭となっていた。主任の話ではここには平屋の家があったと言っていた。まさに我が家のことだ。美しい街づくりに我が家が貢献していたことになる。

翌日、大連湾、黄海の海岸線を通り、星海広場、付家荘北大橋、老虎灘と廻り、解放路、光風台近くを再び通って周水子空港へ着いた。

思い出を深めたよい旅であった。



光風台の家の跡

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

研究グループ交換(GSE)について

地区研究グループ交換(GSE)委員会 委員長 矢形 修己



1. 概要

1965年に発足したロータリー財団の「国際交流プログラム」であります。
GSEの発足年度は、34チームが参加しましたが、2001～2002年度には544チーム、2002～2003年度には397チームが参加するまでに発展しました。
このプログラムは年を追うごとに参加者が増え人気の高いひとつです。
具体的には①国を異にする2つの地区がペアを組んでおこないます②メンバー構成はロータリアン以外で事業または専門職に携わる年齢25～40歳の選ばれた4名とリーダーのロータリアン1名を加えて編成、相手地区に派遣します。③派遣もしくは受け入れ期間は4～6週間です。
発足以来100カ国以上から37,000人(約7,600チーム)が参加しています。

2. 目的

異なった文化と職業の交流の場を提供する機会です。チームは派遣期間中、他国で同じ職業分野の参加活動、勉強、ホスト地区で歴史や文化を学ぶことにより異文化経験に浸りホストファミリーや地域社会の人々と親睦を深めます。また、クラブ例会やロータリー活動で日本の歴史と文化を通じ国際理解、親善、友好関係を高める手段のひとつとなります。

3. 事業の経過

このプログラムは従来 同一年度内に2地区間で派遣、受け入れを行って参りましたが、2002年度より隔年の派遣、受け入れに変更されました。
岡部ガバナ一年度(2003年3月～4月)当地区より9520地区に派遣しております。昨年度(豊島ガバナ一年度)は、2003年11月に9520地区より2760地区が受け入れました。日程も当該地区の地区大会開催日を含むことが多いです。
しかし、今年度は全GSEチームに「100周年記念GSEチーム」という特別名称が付、また愛知万博開催が重なり、DDFを使用して、単年度に派遣と受け入れを実施することになりました。

a) 提携先RI 5370地区の概要

- ・カナダの4州(アルバータ州・ノースイーストブリティッシュコロンビア州・ウエストサスカチュワン州・ノースウエスト準州イエローナイフ)でカバー
- ・54クラブ 2,500名の会員数 エドモントンを中心とする

b) 地区の産業(主にアルバータ州)

- ・農業は世界有数の生産性を誇り、カナダ全体の年間生産高 約25%を占める
- ・エネルギー州でもあり、カナダ全体の通常石油埋蔵量 65%以上
- ・天然ガス80%強、ピチューメンとオイルサンド100%存在
- ・食品、飲料の加工は州最大の製造業である。
- ・石油化学とプラスチック、林産品等がここ数年に行われた州経済多角化の成功を物語っている。
- ・工業製品の多様化も進んでいる。
- ・サービス部門はGDPの60%を占める。壮大なロッキー山脈、ジャスパー、バンフ両国立公園が有名である

4. 派遣

2005年5月14日～6月11日迄 RI 5370地区での予定
 募集 2004年7月13日～2004年9月17日（締め切り）
 選考試験 2004年10月16日予定（場所 時間 未定）
 チームリーダー 1名（ロータリアン）
 チームメンバー 4名（ロータリアン子弟以外、25歳～40歳）

5. 受入予定及び受入計画案

- ・受入期間は2005年4月2日～4月30日（万博開催中）予定
- ・2004年 7月 ガバナー補佐会議にて受入計画案立案の説明実施。
- ・11月 各分区受入説明会を実施。
- ・12月 各分区受入計画書の作成をお願い。
- ・ 受入計画まとめ及び分区案集約の調整に。
- ・2005年 3月 受入準備と点検、派遣メンバーとの交流、役割調整。
- ・ 4月 来日チーム受入「受入計画実行」（予定）。

6. 近年の実施状況

① 1997年～1998年度（犬飼ガバナー年度）

相手地区 RI 4430地区（ブラジル・サンパウロ）
 受入期間 1998年3月24日～4月23日で実施
 派遣期間 1998年5月 2日～6月 1日で実施
 GSE 委員長 松前 憲良（一宮中央RC）
 受入チームリーダー 豊田 淳治（スザノRC）
 チームメンバー ルイス・エドワルド・ペッセ・デ・アルーダ、
 アニッキ・コロフリー、アンドレイア・モレイラ、カシア内山
 派遣チームリーダー 犬飼 芳樹（名古屋東南RC）
 チームメンバー 村田 修、内藤 幸子、高橋 利治、横田 悌三

② 1999年～2000年度（野村ガバナー年度）

相手地区 RI 6600地区（アメリカ・オハイオ州北西部）
 受入期間 2000年3月26日～4月22日で実施
 派遣期間 2000年4月25日～5月24日で実施
 GSE 委員長 山田 達（半田RC）
 受入チームリーダー リチャード・M・ロジャース
 チームメンバー ジニー・W・ロスフェルド、マーガレット・P・ストウッドベイカー
 ステファン・B・ヘス、ショーン・P・ケラー
 派遣チームリーダー 石川 百代（豊橋RC）
 チームメンバー 榊原 豪、小島 成樹、磯村 彰秀、中島 佐和子

③ 2000年～2001年度（福田ガバナー年度）

相手地区 RI 2320地区（スウェーデン北部）
 受入期間 2000年10月31日～12月 1日で実施
 派遣期間 2001年 4月20日～ 5月20日で実施
 GSE 委員長 石田 弘幸（小牧RC）
 受入チームリーダー リナート・クレフボム
 チームメンバー シャネット・ステンマン、アンカートリン・ホエルンフェルト、
 ティナ・ボンデスタム、アンダーシュ・ソルクビスト
 派遣チームリーダー 須賀 碩二（豊田西RC）
 チームメンバー 渡辺 博明、船津丸 昌好、勝本 由貴、加藤 千夏

④ 2001年～2002年度（太田ガバナー年度）

相手地区 RI 3750地区（韓国・京畿道）
 派遣期間 2001年10月 6日～11月 5日で実施
 受入期間 2001年11月 2日～12月 2日で実施
 GSE 委員長 深谷 友尋（名古屋みなとRC）
 派遣チームリーダー 伊藤 信吾（西尾RC）
 チームメンバー 岡田 健太郎、筒井 友佳子、小林 めぐみ、小栗 あゆみ

受入チームリーダー 姜 昌浩

チームメンバー 李 明福、李 洪根、姜 慶淑、金 學龍

⑤ 2002年～2003年度 (岡部ガバナー年度)

相手地区 RI9520地区 (南オーストラリア・アデレード)

派遣期間 2003年3月22日～4月19日で実施

GSE 委員長 深谷 友尋 (名古屋みなとRC)

チームリーダー 浅見 弥進男 (一宮北RC)

チームメンバー 杉浦 徹、太田 晃二、高木 理加、佐藤 亜紀

⑥ 2003年～2004年度 (豊島ガバナー年度)

GSE 委員長 矢形 修己 (名古屋北RC)

チームリーダー マルコム・リンクイスト (ブラウンヒルRC)

チームメンバー トム・ギルバート、マイケル・ハミルトン、
キンバリー・ロシツァイム、ピータ・チェック

7. 現在の課題

日本と開発途上国の地区との研究グループ交換が活発に行われることが挙げられます。

それにより幅広い交流が行われると同時に世界社会奉仕への糸口もつかめる機会を持つことも可能となります。

昨年の感想 (派遣)

「GSEって何？」から派遣は始まります。外国の見知らぬ地域の人たちに波紋を投げかけ、日本でのありのままの気持ちを伝え、接することを心がけます。

出発 半年前から選ばれたロータリアン1名とメンバー4名は、現地でのプレゼンテーション (RID2760はどんな地域、産業、教育、文化なのかなど) の内容の検討、お土産、スケジュール、日本固有の着物 着付け、語学力の強化、などチーム強化のためにプログラムは進んでいきます。その中で特にチームワークは生まれます。これが永遠に続く仲間となっていっています。

さて、プログラムの開始です。現地空港に降り立った瞬間から始まります。

ホームステイも日本の人達のようにお客様と言う扱いはほとんどなく、家庭の一員として対応 文化交流においてメンバーも早く溶け込んで行きます。

昼の研修はメンバーそれぞれの職業に合わせて、個別での対応も多く、農産物、果実の加工、最新医療機器、医薬品卸、ホテルサービス、文化、芸術、教育の研究に加え大自然とのふれあいによる環境問題のディスカッションなど短期間であるが、非常に有意義な研修が続きます。

こちらのプレゼンテーションもリーダーの尺八、メンバーのピアノなど日本の文化に直接触れていただきます。特に岡部パストガバナーとGSE委員でキャンベラの山火事への250万ドルの義捐金は地区大会全員からスタンディングオベーションによる歓迎、感動を受けました。

最後にいつもどんな時でも、「1日 エンジョイしたか？」と聞かれます。貴方がHappyであれば私もHappyと喜びます。こんな感動の連続でプログラムは終了していきます。メンバー各自も人生の中で、貴重な体験であり、ロータリーを通じての国際親善と平和に貢献の出来ることを多く学び取ることが出来るでしょう。

是非、皆様も参加してみませんか？



昨年の感想 (受入)

昨年11月1日、RID9520 GSEメンバーを、ガバナー、財団委員長はじめ委員全員で迎え入れました。

目的意識の同じメンバーに国の壁は全く感じられず、笑顔と陽気さだけが残った印象です。

初日からの人間関係は停まるどころ知らない状態で深まっていき、機上の人になるまで、替わらなかったと言っても過言ではないでしょう。

プログラムは第1週から、ハードでタイトであったにもかかわらず、歓迎会から11回のプレゼンテーションは通訳も困るほどハイテンションのまま行われたと思います。

各クラブ、また地区大会では多くのロータリアンに彼たちの国を理解していただいたと思います。

また公式行事では神田愛知県知事との表敬訪問、名古屋市、愛知県警などでも自国をアピール、オープン前の中部国際空港、万博会場(愛・地球博)も見学、トヨタ自動車、松下電器など企業理念・環境問題に対する取り組みも多く学んできました。多くのスケジュールの中、彼たちが一番喜んでいて、自分の職業と同じ研修だったと思います。リーダーのマルコムは学校、教育、各メンバーは名古屋トヨペット様、日本旅行・名鉄観光様、などにて観光誘致、愛知県警ではOBの方々の年金問題について、意見交換もでき、予想以上の成果にたいへん喜んでいました。地区外研修も古都で歴史や文化を学び、ユニバーサルスタジオなど職業柄たいへん喜んでいました。クリントン米前大統領の講演も思い出に残る大きなひとつとなったでしょう。

プライベートではロータリアンの自宅でのホームパーティ、暖かいホストファミリーとの生活、ゴルフ、カラオケ、モーターショーなど充実した日程であったと聞いています。最後に送別晩餐会は、今までと違い多くのホストファミリーに出席していただき、夜更けまで、別れを惜しましました。

この1ヶ月間を通して、ハードでタイトすぎる多くの反省点も残りますが、両地区ともすばらしい体験をさせていただき、感動の連続であったと思います。このGSEプログラムは各クラブ、ご支援をいただいたロータリアン、ファミリーなど国境を越えた信頼関係、世界平和を約束できたといっても過言ではないでしょうか。人生の中で大きな思い出に残るすばらしい感動を残し、ロータリアンである喜びを再認識したと思います。

今後このプログラムが世界平和のためにも永遠に続くことをお祈りし、挨拶に代えさせていただきます。



[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

研究グループ交換(GSE)「100周年記念GSEチーム」 派遣メンバー募集「カナダ」へ！

GSE委員会

研究グループ交換(Group Study Exchange) 委員会は、ロータリー財団事業の一つとして、1965年に発足した非常に重要な国際交流プログラムです。若い実業人及び専門的職業人に他国の職業と文化について交流と親睦の場をつくり真の国際理解を促進することを目的としています。

今年度は国際ロータリー「100周年記念GSEチーム」としてカナダと交流予定であり、派遣メンバー候補者を下記要領にて募集いたします。

各クラブの皆様にご推薦ご協力をお願いを申し上げる次第であります。

2004～2005年度 研究グループ交換派遣メンバー募集要項

1. 派遣先 RI第5370地区。カナダの4州(アルバータ州・ノースイーストブリティッシュコロンビア州・ウエストサスカチュワン州・ノースウエスト準州イエローナイフ)でカバーする地域。
2. 派遣期間 2005年5月7日～6月5日までを予定
3. 費用 往復航空運賃はロータリー財団、滞在費はRI第5370地区が負担
4. 派遣人員 4名 (応募者の中より選考委員会で決定)
5. 応募資格要件
 - ①ロータリアンとその直系親族を除く日本人。
 - ②愛知県内に居住又は勤務する25才から40才までの健康な方で性別は問いません。
 - ③専門職業の実務経験が少なくとも2年以上ある常勤の正社員で、帰国後もその実務の従事する見込みのある人(公務員・教職員も含む)。
 - ④日常の英会話が出来る人。
6. 応募方法 指定の応募書類を最寄りのロータリークラブへ提出。
 - ①メンバー参加申請書(所定用紙はクラブにあります) 1枚
 - ②写真(カラー5cm×5cm) 1枚
 - ③作文(参加申請書3頁に示す「チームメンバーの意図を表明するエッセイ」として400字詰原稿用紙2枚程度に応募の動機や意欲のほどを書いて下さい。)
7. 募集期限 各ロータリークラブでとりまとめて、2004年9月末日までに地区事務所へ提出願います。

詳しいお問い合わせは…

国際ロータリー第2760地区事務所

〒450-0002 名古屋中村区名駅3丁目12番5号 竹生(チクブ)ビル別館 2F

TEL 052-541-2760 FAX 052-541-0500

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

年間予定表

確認したい月をクリックしていただくと、その月の予定が表示されます。

[2004/7月](#)・[8月](#)・[9月](#)・[10月](#)・[11月](#)・[12月](#)・[2005/1月](#)・[2月](#)・[3月](#)・[4月](#)・[5月](#)・[6月](#)

2004年 8月

7月末～8月随時	青少年交換(受入・派遣)
1日(日)	田原パシフィックRC 創立15周年記念式典
4日(水)	会員増強委員会委員長会議
8日(日)	アジア第1—4ゾーン「地域ロータリー財団セミナー」
21日(土)	インターアクト海外派遣研修反省会 青少年交換委員会帰国報告会
24日(火)	職業奉仕委員長会議 地区ロータリー財団セミナー
25日(水)	クラブ米山奨学委員長会合
28日(土)～29(日)	青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

文庫通信 (202号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーに関するいろいろ

○「奉仕の一世紀 国際ロータリー物語」 デイビッド C. フォワード著
日本語訳監修 菅野多利雄 2003 331p

申込先: R.I.日本事務局 TEL(03)3903-3194

○「選ばれたる人」 佐藤千壽 2003 37p

申込先: 呉R.C. FAX(0823)21-5692

○「RIの方針とプログラム等について考える」 2004 8p
(第32回ロータリー・ゾーン研究会報告書 オープン・フォーラム)

○「変えたいロータリー」 2004 13p
(D.2730地区大会 ガバナー補佐座談会)

○「ロータリーの魅力」 深川純一 2004 12p (D.2690地区大会 講演)

○「夢をかたちに…行動するロータリー」 2004 16p (D.2730地区大会 シンポジウム)

○「21世紀の人間のニーズを満たすものとは」 今井鎮雄 2004 4p
(D.2580地区大会 RI会長代理挨拶)

○「あなたへのロータリーからの贈り物」 関場慶博 2004 6p (D.2500地区大会 特別講演)

○「ロータリー財団の最新情報」 片岡暎子 2004 7p (D.2500地区大会 講演)

○「ロータリーとボランティア」 相原次男 2004 19p (D.2710地区大会 基調講演)

上記申込先: ロータリー文庫(コピー)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館 7F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

▲上へ戻る

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ロータリー在籍50周年の会員への証書について

ロータリー在籍50周年を迎えられたロータリアンへ日本事務局より、50周年を証する証書が交付されます。

交付に関する手続きは[ガバナー事務所を通して頂く必要はありません。](#)

もし証書をご希望の際は下記の要領で直接日本事務局へ申請して下さい。

在籍50周年証書申請方法

- ☆ 会長・幹事の名前の入った書面にて申請
(書式については特に規定はありません)
- ☆ 対象者の入会年月日・氏名・表彰希望と明記
- ☆ 式典等に証書を使う場合は証書交付の希望期日を明記

上記のものを[日本事務局奉仕室宛て](#)にお送り下さい。

※なお、この証書についてはご参考までにお知らせをさせて頂きました。

特に交付の義務はありませんので、各クラブのご判断にお任せいたします。

ご不明な点や詳細については、日本事務局奉仕室へお問い合わせ願います。

ハイライトよねやま 53

(財)ロータリー米山記念奨学会
2004年7月12日発行

ニュース News

- [1. 寄付金速報 ～2003-2004年度 寄付結果報告、ご協力感謝いたします！](#)
- [2. 理事会・評議員会報告 ～奨学金額と採用数の縮減が決定～](#)
- [3. フォーラム開催報告](#)
- [4. 指定校選定の期限、迫る！](#)
- [5. 米山学友の活躍 ～外務省の「ASEAN留学生の意識調査」を手がけた林 保順さん～](#)

PDF版は[こちら](#)（クラブでの配布などにご自由にお使いください。）

1. 寄付金速報 ～2003-2004年度 寄付結果報告、ご協力感謝いたします！

2003-2004年度の寄付金は約15億2百万円、前年度と比べ5.9%減、約9千5百万円の減少となりました。普通寄付金が3.3%減、特別寄付金が7.0%減です。16億円の目標は達成できませんでしたが、会員数減少の中、寄付増進にご尽力賜りましてありがとうございました。第2590地区【神奈川県横浜市・川崎市】が一人当たり平均寄付額のトップ(25,772円)を維持しました。今年度も引き続き、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

2. 理事会・評議員会報告 ～奨学金額と採用数の縮減が決定～

新年度の事業計画と予算を決める2003年度第3回理事会・評議員会が、6月23日に東京・新高輪プリンスホテルで開催されました。全地区から102名の理事・監事・評議員が出席して、2004年度の事業計画、収支予算および奨学生募集人員と募集要項などを審議決定しました。

<主な決議事項>

1. 奨学金額と奨学生採用数の見直し

寄付金収入の減少を受け、2005学年度の奨学金額と採用数は、次の表の通り、それぞれ縮減されます。

	種別	月額	採用数
米山奨学金	学部(YU)	10万円	741名
	修士(YM)	14万円	
	博士(YD)	14万円	
クラブ米山(CY)奨学金		14万円	59名
特別米山(SY)奨学金	SY-A	18万円	
	SY-S	18万円	
	SY-1	10万円	
合 計			800名

2. 地区および学友会補助費の改定

2005年7月より、地区活動補助費は、奨学生人数によるスライド式に改定されます。学友会運営補助費・設立準備金は、2004年7月より廃止されます。

3. 予算

寄付金収入予算は15億1千万円、奨学金支出予算は15億8千万円です。奨学資金特別積立金の取り崩しは3億円で、これを執行すると、特別積立金は25億5千万円となります。

2003年度の寄付総額が16億円を下回ったことにより、奨学金額と採用数を縮減する厳しい会合となりました。慎重な審議を重ねた結果、奨学金額を平均7%、採用数を20%減とする案が採択されました。98年以来、1,000名を超える奨学生を支援してきたロータリー米山奨学金ですが、この数年ロータリー会員の退会、寄付金減少に歯止めがかからず、ついに大幅な削減を余儀なくされました。原因は、単に経済的なものだけではありません。ロータリーの「奉仕」とは何か、奨学事業の「使命」とは何か、そして「なぜ今、留学生支援なのか」といった事業の本質が見えにくくなっている現状への批判も大きいと思われます。

理事会・評議員会後に開かれたフォーラムでは、米山奨学事業を見直すために昨年実施した「第2期基礎調査報告」をたたき台として、“みんなで考えよう…私たちの米山奨学事業”の議論を行いました。財政危機の現実を直視しながらも、決して後ろ向きにならずに、日本のロータリアンが築き上げてきた奨学事業を前進させようとする意気込みを感じさせられたフォーラムでした。なお、このフォーラムは、2006年度制度改編に

向けてシリーズで開かれます。

(常務理事・事務局長 宮崎 幸雄)

3. フォーラム開催報告

理事会・評議員会合同会議の終了後、1時間半にわたるフォーラムが開催されました。高野副理事長、宮崎事務局長による基礎調査結果のプレゼンテーションの後、グループディスカッションが行われ、参加した理事・評議員から活発な意見が交わされました。



■ 寄付については、「会長や幹事に対し、重点的に理解の浸透

をはかる」「普通寄付を増額し、財源の安定化を」といった提案が多く寄せられ、関心の高さが伺われました。

■ 表彰制度の改定については、寄付増進に有効であるとしながらも、「10万円が目標ではなく、2回3回と続けてもらえるような動機づけが必要」との意見がありました。

■ 「日本に来ている学生だけでなく、アジアの大学に日本語学科をつくり、招致するような全面的支援をしたい」など、今後の奨学事業の可能性に関することや、当日決議された奨学生数縮減と奨学金減額に関する意見、交流のあり方などが議論されました。

今回のフォーラムの詳細は、後日、増刊号としてまとめる予定です。ご期待ください。

4. 指定校選定の期限、迫る！

2005学年度の指定校決定報告が、各地区から続々と届いています。今年、各地区にお送りした『大学情報』では、4月に独立法人化した国立大学の動きや、国際競争力のある研究拠点をつくるために文部科学省が始めた21世紀COE (Center of Excellence) プログラム、特色ある大学教育支援プログラムなど、大学を取り巻く環境についての情報も紹介しています。

昨年の「第2期米山奨学事業基礎調査」では、過半数のロータリアンが現行の指定校・大学推薦制度を支持しながらも、4人に1人が改善の必要ありと答えており、その改善要望のトップが「地域密着型大学や特徴のある大学を指定校に」でした。これは、現行制度の中でも地区の裁量で実現できるアイデアです。ぜひ、さまざまな情報を参考に、今年の指定校をお選びください。

指定校報告の締め切りは、7月14日(水)です。

5. 米山学友の活躍 ～外務省の「ASEAN留学生の意識調査」を手がけた林 保順さん～

マレーシア出身の米山学友、林 保順(リム・ポースーン)さん【1991-93／千葉大学／千葉西RC】は、(株)三菱総合研究所の研究者として、ビジネスの第一線で活躍中です。

林さんが最近手がけたのは、外務省委託の『我が国とASEANの留学生交流のあり方に関する研究』。その研究報告を兼ねたセミナー「我が国大学の国際化と留学生誘致戦略」が、6月22日に三菱総研本社ビルで開催されました。大学、留学生団体をはじめ、外務省、文科省、厚労省など、留学生に関わる教育・行政の関係者らが多数参加した中、林さんは、ASEAN留学生の意識調査結果とともに、優秀で意欲的な留学生をASEAN諸国から誘致するための戦略モデルを発表しました。自らもASEAN出身の留学生だった経験を存分に生かす報告であり、国際化する日本のビジネスシーンの中で、活躍の幅を広げる米山学友の姿を物語るものでした。

林保順さんは、8月の理事会・評議員会の昼食の席で、スピーチを行う予定です。

[TOP](#)

以 上



(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館ビル8F
Tel:03-3434-8681 Fax:03-3578-8281
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>